

第5回 和歌山県データ利活用コンペティション募集要項

◇開催趣旨

和歌山県は、総務省統計局や統計センターと共に、「日本のデータ利活用拠点」を目指し、データ利活用に関する分析・研究や情報発信、人材育成、連携・支援に取り組んでいます。その取組の一つとして、データ利活用の重要性・有用性を発信するとともに、次世代の日本を担うデータサイエンス人材を育成すべく、全国の高校生、大学生等を対象に、行政課題に対するデータを利活用した解決アイデアを募集する「第5回和歌山県データ利活用コンペティション」を開催します。

若い世代の皆さんにとって、今回のコンペティションへの参加が、地域の現状をよりよく理解し、データを利活用して物事を客観的かつ正確に捉えることの重要性を再認識するきっかけになれば幸いです。

◇募集内容

公的統計データをはじめとする様々なデータを利活用した施策提案

○募集テーマ 「アフターコロナに向けたまちづくり」

・高校生の部・大学生の部共通

現在、世界中に新型コロナウイルス感染症が広がり、社会が大きく変化し、私たちの生活も一変しました。学校では、楽しみにしていた行事が中止になり、クラブ活動等様々な活動が制限されています。しかしながら、コロナ対策を施して、活動が再開し、オンライン授業等、社会と同様にリモートによる活動が増え、国内・海外に関わらず、いろいろな人とも簡単に交流できるようになりました。アフターコロナの社会は未だ予想しえませんが、あなたがゆかりのある地域（都道府県単位や市区町村単位のほか、任意の地域設定も可）の現状・課題をデータに基づき、分析し、これからの新しいまちづくりの施策を提案してください。

「具体例」

- ・飲食店街や商店街の活性化
- ・オンラインを活用した観光プロモーション
- ・SNSを活用した地場製品の販売促進
- ・スポーツや文化活動による健康づくりや地域活性化
- ・新しい働き方や暮らしを楽しめるまちとは？
(テレワーク・ワーケーション・地方への移住)
- ・持続可能なまちづくり（SDGs）

など自由な視点で提案してください。

○応募要件

- ・データを分析した、エビデンス（客観的証拠）に基づく施策提案であるとともに、応募者が発案したオリジナルなもの、第三者の著作権を侵害していないものに限ります。

- ・国や他の都道府県・市町村、その他民間機関等が主催するコンテスト等において受賞歴のある作品を内容の変更なく応募することは不可とします。
- ・分析に使用するデータや分析ツールについて使用制限はございません。ただし、参考にした既存の統計や分析結果等がある場合は、必ずその旨を応募用紙にご記入ください。
- ・令和3年12月18日（土）に開催する最終審査会に参加可能であること。
（最終審査会の詳細については「審査の流れ」を参照してください）

○利用データ例

- ・国が作成した統計データ（政府統計のポータルサイト「e-Stat」に掲載されている統計データ等）
→e-Stat (<https://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do>)
- ・地域経済分析システム（RESAS）を利用して得ることができるデータ
→RESAS (<https://resas.go.jp/>)
- ・新型コロナウイルス感染症が、地域経済に与える影響の把握及び地域再活性化施策の検討におけるデータ
→V-RESAS (<https://v-resas.go.jp/>)
- ・各地方公共団体が公表している統計データ
- ・応募者自身が独自に行ったアンケート調査データ等

◇募集期間

令和3年4月1日（木）～10月22日（金）

◇募集区分

- 高校生の部（高等学校、高等専門学校1年から3年まで、専修学校高等課程、特別支援学校高等部の在学学生）
- 大学生の部（大学、大学院、短期大学、高等専門学校4年・5年、専修学校専門課程・一般課程の在学学生）
- ※1 高校生の部に参加される場合は必ず指導教員を1名付けてください。
- ※2 参加については、複数人でのグループ参加も可能です。各チームの人数に制限はありませんが、最終審査会の旅費支給対象人数は、下記の◇審査の流れの※2のとおりです。また、グループについては、学校等の垣根を越えた編成も可能とします。

◇応募方法

当募集要項記載の各条件をよくお読みいただき、募集期間内にEメールにて下記の連絡先まで①参加申込書・②応募用紙・③プレゼン資料をお送りください。

【送付先Eメールアドレス】

e0201001@pref.wakayama.lg.jp

*応募方法はEメールのみとさせていただきます。

Eメール送信後、1週間以内に受信確認メールを送付させていただきます。

(受信確認メールがない場合は、事務局までお問合せください。)

*Eメールのタイトルには、「【学校名・チーム名】第5回和歌山県データ利活用コンペティション応募」と記入ください。

例：【●●高等学校 ▲▲】第5回和歌山県データ利活用コンペティション応募

*学校から複数応募する場合は、できる限り、各チーム分の資料を学校単位でまとめて応募いただけますようご協力をお願いします。

*6MBを超えるEメールを送信する場合等、添付ファイルが大容量の場合は、その旨、事務局にEメールを送信ください。県指定の大容量ファイル送受信サービスの案内を返信させていただきます。

*その他、応募方法について不明な点がある場合には、事務局までお問い合わせください。

① 参加申込書・②応募用紙

和歌山県データ利活用推進ホームページ

(<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/data/index.html>) からダウンロードしてください。

③プレゼン資料

- ・PowerPointで作成し、可能な限りA4サイズ20ページ・6MB以内にまとめて下さい。
- ・記載方法は自由です。最終審査会でプレゼンテーションすることを前提とした資料を作成してください。(アニメーションは使用しないでください)

◇審査の流れ

データの分析方法や、提案された施策内容等について、厳正に審査を行います。

○第1次審査：応募された提案について、書類審査を行い、最終審査に進出する参加者を決定します。審査結果は合否にかかわらず11月末までに代表者宛にEメールで通知します。

○最終審査：第1次審査通過者には最終審査会に出席してプレゼンテーションを行っていただき、厳正な審査に基づき、各賞を決定します。その後、同じ会場で表彰式も行います。

【最終審査会・表彰式の日時と会場】

日時：令和3年12月18日(土)10:00~17:00(予定)※

※午前 高校生の部、午後 大学生の部を審査し、審査終了後、表彰式を実施予定。

会場：和歌山県データ利活用推進センター

(和歌山県和歌山市東蔵前丁3番17 南海和歌山市駅ビル5階)

※1 第1次審査の通過者は必ず最終審査会に出席してください。

※2 最終審査会に出席するために必要な旅費については、県の規定に基づき算出した額を1チームにつき3名分(高校生の場合は指導教員1名分を追加した

額（合計4名分）まで支給します。

※3 審査とは別にポスターセッション（B2サイズ用の紙1枚もしくはA3サイズの用紙2枚・色彩自由）ができるブースを設置する予定です。

◇表彰

- 高校生の部：大賞1点（副賞として商品券20万円）、データ利活用賞1点（副賞として商品券5万円）、政策アイデア賞1点（副賞として商品券5万円）を表彰いたします。
- 大学生の部：大賞1点（副賞として商品券20万円）、データ利活用賞1点（副賞として商品券5万円）、政策アイデア賞1点（副賞として商品券5万円）を表彰いたします。

◇著作権

応募物の著作権は応募者本人に帰属しますが、県が広報・宣伝の目的、または公共の利益のために利用・複製することは無償で認められるものとします。

◇個人情報の取扱いについて

- 応募の際にいただいた個人情報は、本コンペティション運営のためにのみ利用します。
- 取得した個人情報を第三者に提供することはありません。ただし、受賞者の氏名は公開することがあります。

◇本コンペティションに関するお問い合わせ窓口（事務局）

和歌山県企画部企画政策局企画総務課（和歌山県データ利活用推進センター）

住所 〒640-8203 和歌山県和歌山市東蔵前丁3番17
南海和歌山市駅ビル5階

TEL 073-488-2430

FAX 073-488-2432

Mail e0201001@pref.wakayama.lg.jp

◇実施主体

主催：和歌山県